

佐賀県県民協働課長 様

住 所 佐賀市神野東2-6-10
団 体 名 一般財団法人佐賀県母子寡婦福祉連合会
代表者職・氏名 理事長 久米 幸子
電話番号 0952-97-9767

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

令和4年度において当団体に交付された佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して下記のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

- 1 活用実績報告書（様式第7号 別紙1）
- 2 収支決算書（様式第7号 別紙2）

(様式第7号 別紙1)

令和4年度 佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による寄附金活用実績報告書

団体名 61番一般財団法人佐賀県母子寡婦福祉連合会

1 事業実施期間 令和4年 4月 1日から 令和5年 3月31日まで

2 事業の成果（県民の便益にどのようにつながったのかについて記載）

※提出期限までに成果・効果を示すことが困難な場合は、成果・効果の見込みを記入してください。

死別、離別等でひとり親家庭となり、一人で子育てと生計の維持を担わなければならないひとり親家庭の抱える悩みや問題は多い。行政が行う支援制度の研修会、ひとり親同士が語り合う研修会等を通じて、安心して生活し、子供を育てることのできる環境を作る手助けをすることにより、ひとり親家庭の自立を図ることができた。

3 寄附金を活用して行った事業の実施に関する事項

(1) 今年度寄附金を活用して行った事業（GCFを行った場合はGCF名とその内容を記載）

事業名	具体的な事業内容	(A)実施日時 (B)実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の支出金額 (単位：千円)
①親子ふれあい野外研修	日常生活では味わうことのできない自然体験、野外炊飯、キャンプファイヤーを体験することで自然を理解し保護する心、責任感、協力する態度を養う。	(A)11月19日～20日 (B)黒髪少年自然の家 (C)6名	(D)ひとり親家庭 (E)13名	436
②佐賀県母子寡婦福祉研修大会	「つなごう人の輪、守ろう地域の輪」をテーマに3名のパネラーが発表し、研修討議を行った。	(A)7月3日 (B)みやき町こすもす館 (C)40名	(D)ひとり親家庭及び関係者 (E)209名	433
③トーク&トーク	「不登校」～共感的な理解を～研修会 実体験を交えた講話と質疑応答	(A)1月29日 (B)在宅サポートセンター (C)10名	(D)ひとり親家庭及び関係者 (E)34名	26
④ドリームキャッチ野球教室	元プロ野球選手によるひとり親家庭の子供達への野球教室	(A)8月11日 (B)勤労者体育センター (C)20名	(D)ひとり親家庭及び関係者 (E)16名	26

(2) 次年度繰越金が発生する場合、その活用見込み

事業名	具体的な事業内容	(A)実施日時 (B)実施場所	事業費の支出金額 (単位：千円)
①親子ふれあい研修会	日常生活では味わうことのできない自然体験や、宿泊体験を行うことで責任感、協力する態度を養う。	(A)11月16日 (B)黒髪少年自然の家	500

(様式第7号 別紙2)

収 支 決 算 書

区 分		決算額 (円)	備 考
収 入	佐賀県ふるさと寄附金	0	第1回交付： 0円
		0	第2回交付： 0円
		114,547	第3回交付： 114,547円
		329,400	第4回交付： 329,400円
	前年度繰越金	677,749	
	佐賀県共同募金	337,000	
	収入 計	1,458,696	
支 出	○事業名 (親子ふれあい研修)		
	謝金	92,000	
	旅費	47,040	
	印刷製本費	231,000	
	消耗品費	286,972	
	使用料・賃借料	130,900	
	保険料	4,579	
	雑費	120,950	
	返礼品等の調達に係る費用	117,920	
	返礼品等の送付に係る費用	23,289	
	ふるさと納税の広報に係る費用	0	
	ふるさと納税の事務に係る費用	2,860	
	次年度繰越金	401,186	
	支出 計	1,458,696	

○GCF を行った場合は、GCF の事業単位で支出を区分して記載してください。その他の事業についてもできるだけ事業単位で記載してください。

○支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費、使用料等に分けて記載してください。経理上の区分名で記載して構いません。

○領収書等は事業終了後5年間保存してください。